



神宮 秋也  
Shuya Shingu

人生を  
パラレルに  
生きよう  
・  
復業入門

**激務のサラリーマン、3児のパパが  
副業で毎月200万円以上稼いだ！**

- ・ ブログ開始後2年で1億円以上の買収提案を受ける
- ・ 1日30分の作業で時間的・金銭的自由を手に入れる

# プロローグ

---

**「会社が嫌で嫌でしょうがない」**

**「会社以外で収入を得る仕組みを作りたい！」**

本書はあなたが抱えているこのような悩みに対して真正面に向き合って書きました。今の仕事や生活にくすぶっているあなたに向けて書いた応援歌だと思ってください。

現在、あなたが現状に少しでも不満を抱いている場合や、将来に不安を感じている場合は、本書が必ず役にたつことを約束します。

申し遅れました、私の名前は神宮秋也（しんぐうしゅうや）と申します。愛知県生まれで京都市在住の31歳（2018年現在）、妻と3人の元気な子どもたちに囲まれて生活しています。

家族との時間を大切にしながら会社を経営し、ほぼ一人で年間数十億円を動かすメディアを運営し、多い時は月商3000万円を超えます。（後ほど1億4千万円で売却）

仕事したいときは仕事をし、休みたいときはガッツリ休む。すべて自分の気持ち次第。自由気ままに仕事をしています。

悩みはほとんどありませんし、月商のうちほとんどが利益ですから、欲しいものは買いたいだけ買える。本当に最高の生活です。

今でこそ時間的、金銭的、精神的自由を手に入れた私ですが、初めからこうだったわけではありません。

数年前は、金銭的にも時間的にも余裕がなく生きていくのがやっと、という状況でした。

23歳で結婚し、薄給のなか子育てをする。  
転職は独立も含めると4回。ぶっちゃけた話、収入が  
なくなったこともあります。

非課税世帯という底辺中の底辺を経験し、どん底を味  
わってサラリーマンをしながら並行して起業。非課税  
世帯から月商3000万円までの期間は2年ほど。

まさに、複業を行い、起死回生の成功を手に入れました。  
底辺を味わってきたとは思えないほど事業は軌道  
に乗っています。

私のこの経験から、サラリーマンをしながら自分のビ  
ジネスを構築すること、つまり「複業」は最強の選択  
であると断言できます。

この本を読んで、人生に希望を見いだせる人が少しで  
も増えたら最高にうれしいです。

それではまいりましょう！

# 第1章：複業とはなにか？

---

## 副業では稼げない！

---

「副業思考」では稼げません。  
なぜなら考えが甘すぎるからです。

あなたは「副業」と聞くとどのようなイメージを持つ  
でしょうか。

- ・ お小遣い稼ぎ
- ・ 簡単に稼げる
- ・ 片手間
- ・ 本業があるので、あくまでも副収入

こんな感じでしょうか？

「ネットビジネスは簡単に稼げる！」という、うたい  
文句でセールスを仕掛けている人が非常に多いため、  
**インターネットビジネスは楽勝！**と勘違いし”副業思  
考”で参入する人が多くいます。

そして、ちょっと実践して結果が出ずに挫折していく  
これの繰り返しです。

私も挫折の繰り返しだったので挫折する人の気持ちが  
すごくよく分かります。

この挫折の経験から学ぶことは非常に多いため、挫折  
は全く悪いことではありません。筋肉もトレーニング  
で筋繊維を傷つけるからこそ、今まで以上に強くなる  
うと回復します。そして前よりも太く強くなっていく  
のです。

「人は涙の分だけ強くなる」や「失敗は成功のもと」  
という言葉があるくらいですから、挫折もプラスに変  
えていく。

筋肉理論をネットビジネスに適用するのも悪くないで  
すが、私は「副業に取り組む」という意識ではなく、  
「ビジネスに取り組む」という意識でネットビジネス

**という複業に向き合っていくことこそが、真の成功への鍵だということ学びました。**

「副業」の”副”をあえて「複数」の”複”にしたのは、**本業と同じくらいの気持ちで自分のビジネスに取り組んでほしい**という思いを込めています。

**ビジネスは相手に価値を提供する行為。**

ですから決して甘い覚悟で取り組んでほしくありません。一番重要なので、あえて「副業思考」では稼げないということを、はじめにお伝えさせていただきました。

## **副業ではなく複業をしよう**

---

ここからは、私がなぜネットビジネスに取り組んでいるのか？についてご紹介します。私がネットビジネスに最初に出会ったのは2011年頃。

当時私は大学を卒業してシステムエンジニアとして一部上場企業に勤務していました。

私が千葉にある20階建てビルの14階で仕事をしていたときです。

昼食を食べ終えてパソコンに向かっていると、非常に強い揺れに襲われました。日本を揺るがしたあの東日本大震災です。

下から突き上げる「ドドドド・・グラグラ・・・」という激しい揺れに直感でただ事ではない、と感じました。

当時住んでいたのは千葉だったので、自宅の棚が倒れたり、食器が割れたりした程度で家族も無事でしたが、妻と子どもの待つアパートまで革靴で7時間ほど歩いて帰った日を今も鮮明に思い出します。この大地震はかなり衝撃的な出来事でした。

この地震で多くの方が命を落とすこととなります。それ以来、生きることの意味などを自問自答する日々。



## 「1回きりの人生、このままでいいのか？」

という思いを強くして、会社を2年半で退職し、妻の実家がある京都に移住しました。

関東は当時、津波の影響で原子力発電所がどうなるかわからないという状況で、放射能汚染の危険性も大。

私はすでに妻と結婚し、1歳になる長男がいたため、放射能汚染の影響を懸念した妻のお父さんから「帰れるなら帰ってきてもいいし、しばらくの間実家に住んでもいいぞ」と言っていたので、お言葉に甘える形で帰省しました。

会社を辞めて空いた時間でやることはもちろんネットビジネスです。以前に5万円で買った無在庫ネットショップの教材をもとにネットショップの運営を行いました。

無在庫なら仕入れの資金も必要ないので資金がない自分にピッタリだと。

そこから半年間、妻の実家の一室でひたすらネットショップを作成する日々を過ごし、何とか4店舗ほど開店。少ないながら売れていくことに嬉しさを感じ、「このままいけば半年で月に100万円くらい楽勝でしょ！」と甘く考えていました。

しかし、これまで海外から商品を買った経験もないため、全くの手探り状態でした。結果、資金繰りや在庫切れなど、輸入ビジネス特有の様々なトラブルが起こり、あえなく半年で撤退することになりました。

いま振り返ると、取り組む姿勢や意識は、ビジネスを行なっているという意識までは至っていませんでしたので、失敗するべくして失敗したのだといまでは理解できます。

しかし、当時は自分なりに必死にやったにも関わらずなぜ失敗したのか全く分からずに、打ちひしがれていたことを覚えています。

このとき私が失敗した理由。

それは、副業マインドだったということです。

会社を辞めてネットビジネスが本業であったにも関わらず、**副業をするかのごとく「楽勝」「片手間」マインド**で取り組んでしまったこと。

その当時は、本気でネットビジネスは楽勝であると勘違いしていました。

繰り返しになりますが、ネットビジネスに取り組むのであれば、**「副業思考」ではなく、「複業思考」**で向き合うことは必須です。

私はあなたにお小遣い稼ぎ程度の副業で終わるのではなく、複数の収入源を確保する自立した存在になってほしいと思っています。

「副業」と「複業」では一文字しか違くないではないか？と思われるかもしれませんが、この一文字の差はすごく大きいです。

なぜなら、副業思考で仮に稼いでもお小遣い程度ですが、複業思考で稼げれば、本業と同等程度の収入を確保することが可能になるからです。

副業思考がなぜダメなのか？というのは気持ちの甘さだけではありません。根本的に欠けている部分があります。

それは、**「本業がある前提で考えている」**ということです。

**本業がある前提で考えている以上、どう頑張っても本業を超えることは非常に難しいです。**

私の場合は、独立して取り組んでいるにも関わらず、「副業思考」であったばかりに結果失敗してしまいました。

だから、どうせ取り組むなら**本気で複業をしませんか？**

# 今「複業」が求められている

今は、働く側にとっても企業側にとっても国にとっても、複業が非常に求められている時代です。

働く側にとってみれば、給料は上がる気配すらなく、勤めている会社はいつ傾くのかわからないという不安があります。

これまでは、安定した給料を基本に人生設計をすればよかったものが急速に崩れてきているのです。

東京商工リサーチが2014年に調査した結果、**企業の平均寿命は23.5年**であることが分かっています。

22歳で大学を卒業して、60歳の定年まで働くとしたら、38年間は会社勤めをする計算になります。つまりほとんどの人が、**新卒で入社した会社が倒産、ないしは合併や吸収されて無くなってしまいう**可能性があるということです。

実際に、私が大学を卒業して新卒で入社したシステム開発会社も、入社1年目の時に1部上場企業の会社に吸収合併されて、多くの人が退職勧告を受けました。

当然、吸収合併された会社の社長や役員は外され、上司も何人もいなくなりました。

世の中は弱肉強食。

社会で生き残っていく厳しさを痛感する出来事でした。

今後は少子高齢化がどんどん進み、より競争は厳しくなっていくでしょう。

今以上に倒産する会社が多くなり、生き残りをかけた熾烈な争いが始まります。コストカットするための人員の削減。それにとまなう長時間労働。

逃げる道はなくなります。

当然日本の人口が減っていくわけですから、物が売れなくなります。海外進出しようにも、これまでの大量生産大量消費の考えが染みついていることや、マーケット感覚がないため世界で戦っていくだけの突出したサービスを生み出せません。

政府は働き方改革と称して、「企業への残業規制」や「副業解禁」などの様々な対策を打ち出していますが、現状はただの企業のコスト削減に協力しているだけといった格好になります。

東京都の新橋には、残業ができなくなり手持ち無沙汰のサラリーマンが漫画喫茶やゲームセンターなどで時間をつぶして帰宅する通称「フラリーマン」という言葉まで登場しています。

40歳、50歳にもなる大人が、やることがないからといって、仕事終わりにゲームセンターにいつている。

これは大問題です。

それだけ今まで会社の仕事“しか”してこなかったということだと思いますが、この映像を見て元サラリーマンとして本当に情けなくなりました。

今までは上司の指示に従って淡々と仕事をやっていればよかったわけですが、これからの時代は違います。

上司の顔色をうかがって、会社の指示に従えば利益があがる。そんな甘い世の中ではなくなります。

市場が小さくなるのですから、競争はこれまで以上に激しくなります。また、ビジネスの世界もグローバル化していますので、海外からも競争相手が現れます。

そんな厳しい世の中だからこそ、いままで以上にクリエイティビティーが求められるし、重宝される。

もう今はそういう時代です。



ですからこれからの時代は、**会社以外の時間で何をするのかが非常に重要**になります。本を読んで勉強することも大事です。

それだけではなく、**複業をすることこそが、求められる人材になるための一番の近道**だということをここで誓います。

なぜか。それは、**自分でビジネスをしたら、ビジネススキルが高まり、社会にとって貴重な人材になれる**からです。

勤めている会社からの評価も上がり、会社の給料以外にもお金が入る道がある状態。こうなれば、会社に依存せず、言いたいことを自信もって言えるようになります。

クビになっても糞食らえ精神で発言できるようになれば本当に強いですよ。

# 複業にはメリットしかない

複業には正直メリットしかありません。

どんなメリットかというと、自分の**ビジネスマンとしての能力が飛躍的にあがります。**

実際に元はダメサラリーマンだった私も、複業に取り組んでから本当に人生が激変しました。

新卒で入社した会社を2年半で退職し、海外転売のネットビジネスをするため独立。その独立も半年ほどで失敗し、人生のどん底を経験しました。

妻は派遣社員として働いて、自分自身は妻の実家で独立という名のニート状態。海外からの買い付けと、クレジットカード支払いの管理の難しさに四苦八苦し、失敗。妻が稼いだ十数万円のお金で生活をやりくりし、非課税世帯になりました。

その後、再起を図るために再就職。サラリーマンへと舞い戻りました。

再就職した会社は金融系。

社員や上司の前職はほとんど銀行や金融関係というガチガチの職場で頭打ちになります。

システムエンジニア時代では当たり前だったことが、転職した会社では非常識なんてことはしょっちゅう。業界が異なると生き残っていくルールが本当に違います。

よかれと思ってしたことが裏目にでて激怒されることは何度もありました。

私は器用なタイプではなく、物覚えもあまりよくありません。ルールがガチガチで”形式”を大切にする金融系の会社のなかで、**私が使えない人間であるという評価**がつくのに時間はかかりませんでした。

それからというもの、回ってくる仕事は誰でもできる雑用ばかり。それでも目の前の仕事を必死にこなしていました。

コピー係でも掃除係でも、自分ができる仕事を一生懸命やろう。そういう思いでやっていました。

私が今につながる複業を開始したのはそんなときでした。

日々会社で罵声を浴びせられながら仕事をし、日付が回るころに帰宅して複業をおこなう。毎日朝4時に床について、7時に起床し保育園の送迎。

そんな日々を過ごしていった結果、**ダメ社員の烙印を押されていた私の評価は上昇し、**離職する際には半年間ほど引き留められるまでになりました。

また、当時は会社からの給料以外に自分のビジネスからも収入を得ていましたので、**気持ち的にも会社に依存することがありませんでした。**

万が一、クビになっても会社が倒産してもやっていける。そう思っていました。

給料のみで生活している人と、給料以外にも収入源がある人。気持ちの余裕に違いが出てきます。

私は家族がいても気持ちの持ちようが違ったので、独身の方の場合はもっと余裕が出るでしょう。ビジネスマンとしての能力は上がるし、会社以外からも収入を得られる。

こんな素晴らしいことはありません。だから私は**複業にはメリットしかない**と考えているわけです。

## **複業にはデメリットは一切ない**

---

複業にはメリットしかない！といいましたが、じゃあ本当にデメリットはないのでしょうか？

あなたがデメリットもあるだろうと思いたい気持ちもわからなくはないですが、本当に**デメリットは一切ありません。**

なぜなら、**すべてのことが経験となり、自己成長に繋がる**からです。私は、これまでセミナーや教材、スクールや塾などにおそらく1000万円以上は投資してきました。

私がおはじめて月給以上の投資をしたのは1回目の独立で失敗し、再就職したときに行ったトレンドアフィリエイトの個人コンサルでした。

当時、複業でトレンドアフィリエイトを実践し、なんとか月2万円ほど稼いでいました。もっと報酬を伸ばしていきたいと思っていたときに、情報収集していたメルマガ内で、大阪で無料セミナーを開催するとの告知が。

これは参加せねば！と、いざ大阪へ。

新大阪の雑居ビルの薄暗い一室に、私を含めて10名ほどの受講生がいました。セミナー終盤に、案の定個人コンサルのセールスがかかります。

受講費用は半年間で30万円。

私は悩みに悩みました。クレジットカードで24分割にすれば、月の支払いは2万円以内。

それであれば、なんとか今の報酬を維持すればいけるか・・・と葛藤に葛藤し、妻にも電話をかけて許しを得て決済をしました。

その後、どうにかして投資額を回収しなければ！という思いで猛烈に行動。月に8万円ほど稼げるようにはなりましたが、その後作成したブログがGoogleからペナルティーを受けて削除され、結局報酬は元通り。

そんなことをしていたらコンサル期間の半年が過ぎました。

私がこのコンサル代金30万円と半年間の実践で得たもの。それは目に見える結果は月に最高8万円稼いだブログを作れたという実績だけです。

8万円稼いだ翌月にブログが飛んだので、コンサル代金30万円すら回収できませんでした。

でも、この経験をして私は本当によかったと思っています。それまで教材を参考に一人で必死に実践しても月に2万円くらいしか稼げていなかった自分が、一瞬であったにせよ、自分の力だけで月に8万円もブログで稼ぐことができたからです。

お金を支払って必死に行動する。  
その結果小さな結果を手にする。

この経験がこのタイミングで出来たことは、本当によかった。もしあの時に30万円支払っていなければ、絶対に今の自分はいません。



ところで、こんな話があります。アメリカで80歳の以上の老人を対象に行った「人生で最も後悔していることは何ですか？」というアンケート調査の結果、最も多かった回答は、「チャレンジしなかったこと」だったそうです。

まさに、あの時にチャレンジしていなかったら私も死ぬときに後悔していたことでしょう。

失敗してもすべてが学びになります。

死ぬこと以外の失敗は本当にかすり傷です。

あなたもいざ、チャレンジしましょう。

## **第2章：あなたが複業をすべき理由**

---

### **国内市場の成熟化による成長の鈍化**

---

第1章でもお伝えしましたが、会社の寿命はどんどん短くなっています。新卒で入社した会社が定年まで健在でありつづけるという保証はどこにもありません。

なぜなら、**時代の変化のスピードがすさまじく速い**からです。

例えばスマホ。

私が初めてiPhoneを購入したのが2010年。

その当時はまだiPhoneを持っている人の方が珍しく、iPhoneを手にした時の近未来感がすごくワクワクしたのを覚えています。

なにか特別なことができるわけじゃないけど、これが世界を変えていく。その時は漠然とそんなことを感じていました。

ただ、日本はガラケー全盛期でしたから、妻がiPhoneを手にするという想像はできません。ましてや、定年を迎えた両親世代がスマートフォンを使いこなしているなんて、全くイメージできませんでした。

それから数年後には、70歳くらいの方までが普通にiPhoneを利用しています。むしろ、今の時代スマホがないと生きていけないくらい便利になっています。

スマホが現れたことで、それまでネットの王者だった大手企業もあわてて対応している状況です。

たとえばYahoo!なんかは、ニュースを見るといえばYahoo!ニュースというほど絶対的な存在でしたが、スマホが出現したことで、スマートニュースやグノシー、ニュースピックスなどのスマホに最適化したニュースサイトに顧客を奪われています。

時代の流れに敏感なIT企業ですらこのような状況なのですから、一般企業はもっと厳しい状況でしょう。

これはIT業界だけに限りません。

例えばコンビニのアルバイトさんの多くは外国人になっています。

あまりに当たり前になりすぎて気づいていませんが、グローバル社会の浸透が最も身近なところからすでに始まっているのです。

人件費が少しでも安い外国人のアルバイトを使う方がコストカットになります。

そして今後は、グローバル化だけでなくテクノロジーの進化による変化も間違いなく起こります。

Amazon GOによる無人コンビニの実現はもう目の前まで来ています。

AIも今以上に生活に浸透することはほぼ間違いありません。ブロックチェーン技術もそうです。

それらに代表される技術の発達が目覚ましく、みるみるうちに社会構造を変化させています。

会社の規模が大きくなればなるほど動きは鈍くなりますから、スピードについていけなくなります。

2017年には、メガバンクの東京三菱UFJ銀行がこれまでのビジネスモデルが限界にきているということで、10年をかけて従業員を1万人削減するという発表もしています。

今後、このような動きはますます広がっていくでしょう。つまり、今までの価値観で動いていては先がないということです。

## 複業のハードルは限りなくゼロ

---

今の時代、自分でビジネスをすることのハードルはほぼありません。

なぜなら、インターネットの発達で、大きな初期投資がなくても事業をスタートできるからです。

インターネットがない時代では、自分で会社をやるというと、銀行に莫大な借り入れをして店舗ビジネスを

展開する。ということしかほぼ選択肢がありませんでした。

私の父親も私が小学校くらいまで小さな喫茶店を営んでいました。

バブルの終わりごろに銀行から借金をして街にある喫茶店を開店し、従業員は母親とあと1名くらいの本当に小さなお店。

父親は大学を卒業してそのままレストランに就職し、そこで経験を積んだのち喫茶店をオープンしました。

しかし、それまで営業の勉強やマーケティングの勉強などは一切してこなかったため、お店に集客するノウハウもなければ、価格をいくらにするのかなど現場レベルの知識しかありません。

あるのは、「薄利多売」戦略のみ。

薄利多売はモノがない時代にはよかったです、時代が変わりモノがあふれると逆効果です。

結局、働きすぎによる体調不良からお店をつぶしてしまいました。残ったのは膨大な借金だけ。

それからは生活が一変し、貧しい生活を強いられました。ご飯に水をかけて食べたこともあります。

どんな状況でもうまくいく人もいれば失敗してしまう人もいます。私の父親がうまくやれなかったとってしまえばそれまでですが、それにしても、ビジネスを行うことに対するハードルが非常に高かったことも事実です。

インターネットがないときの起業とは、それくらいのリスクと覚悟が求められたことでした。

今はどうかというと、全くリスクはありません。インターネットができ、様々な便利なツールが開発されました。

Google、Facebook、LINE、Skype、チャットワーク、各種SNSなど人とつながる手段は本当にたくさんあります。

最近では、SNS起業なんていう言葉もあり、スマホをパチパチ操作するだけで上場企業の部長以上に稼ぐ若者もたくさんいます。

ではなぜインターネットをつかったビジネスがリスクなく儲かりやすいのか？その理由について簡単にご説明します。

元ライブドアの社長であった、ホリエモンさんが提唱している「**儲かるビジネスの4原則**」というものがあります。

それは、

1. 在庫がない
2. 粗利が高い
3. 継続課金が見込める
4. 初期費用が低い



この4つです。

この条件を満たしているビジネスはめちゃくちゃ儲かりますし、逆に損のしようがないくらいです。

インターネットを使ったビジネスというのは、この4つの原則に当てはまりやすいです。だから成功する人が多いというわけですね。

ビジネスは何に取り組むかによって、本当に稼ぎの額が大きく変わります。いくら能力があろうとも、斜陽産業でがんばっていたのでは、その人の本来の力は発揮できません。

どうせ頑張るなら、自分の能力を存分に生かされる複業の世界でがんばってみませんか？いまの時代、リスクはほぼありませんからね。

## ビジネス力が強化される

---

あなたが複業をすべき理由の3つ目は、ビジネス力が強化されるということがあります。

複業をすると、会社以外のビジネスを自分で行っていくことになります。そうすると、会社に勤めていただだけでは知れない知識や経験、スキルを手に入れることができます。

この結果、ビジネスマンとしての総合力が上がり、会社の評価につながります。

実際に私もそうでした。

3社目の会社に入社したときは、それまで生きてきたルールとは全くことなり、やることなすことすべてが裏目にでて本当に苦しかったです。

上司からは使えない社員が入社してきた、という目で見られ、仕事は雑用しか行わせてもらえませんでした。

このままでは自分の人生は終わってしまうと考えて、会社員と並行して自分のビジネスを帰宅後に行うことにしました。

当時は23時頃に会社が終わり、帰宅すると24時を過ぎていることも。それからさっさとご飯を済ませて近くの24時間営業のドトールに移動して、深夜の3時～4時くらいまで仕事をして帰宅。朝7時に起きて子供たちにご飯を食べさせて保育園に送って仕事に行っていました。

今考えるとなかなかハードな日々を過ごしていたなと思います。そんな時間を過ごすうちに、人間力やマーケティング力は次第と向上し、会社からの評価は急上昇。

はじめは落ちこぼれ社員でしたが、次第に次世代を担う社員にまで成長することができました。

それもこれも、会社の仕事だけを必死にやっていただけでなく、帰宅後みんなが寝静まっている時間に自分

のビジネスをやったからこそその成果だと思っています。

**複業で少しずつ成果を出すことで、次第に自分ができる！という自信が生まれてきます。**

その自信がサラリーマンをするときのパワーとなり、動きも次第に自信を帯びてきました。

自信をもって仕事をしていると、仕事でミスしても前向きにとらえることができます。もし複業がなければ、仕事に対してまともに考えすぎてしまい、心が病んでしまっていたかもしれせん。

複業を行うことでプラスになることは人間力だけではありません。限られた時間のなかで成果を出す必要があるため、集中力と自制心が身につきました。

独立している人は1日10時間以上仕事に使えますが、複業の場合は1日使えて3～4時間程度。当然集中する必要があります。

複業を行う中で、「自信」、「集中力」、「自制心」が身に付けば、会社員としての仕事でも生きてきます。

Googleが20%ルールという制度を導入していることは有名ですが、それだけ自分がやりたいことをやっているときに出す成果はすごいものがあります。

会社で出来る仕事で大満足だ！という場合は別ですが、もし他にやりたいことがある場合は、積極的に複業に取り組む。

それは必ず会社の仕事でも生きてきますからね。

## **第3章：パラレルライフへの誘い**

---

### **パラレルライフという生き方の提案**

---

私はパラレルライフという生き方を是非あなたにも送ってほしいと思っています。

パラレルライフとは、

- ・ 人間として
- ・ 男として
- ・ 父親として
- ・ 夫として
- ・ 上司として
- ・ 部下として
- ・ 経営者として

それぞれの役割を全うして最高にハッピーに生きることを行います。

なぜ私がパラレルライフをおすすめするのかというと、**すべての役割を全力で味わう方が1回きりの人生楽しい**と思うからです。

でも多くの人は、パラレルに人生を生きることができません。

たとえばよくいるのが、「上司として」の役割が人生の大半で人生を終えてしまう人。  
身近にこういう人いませんか？

いわゆる仕事人間というやつですね。  
ほとんど家に帰らず、仕事ばかりして妻からは愛想をつかさね、子供たちは愛情不足で不登校になり、定年目前で妻から熟年離婚をつきつけられる。

人間的な生活も、男としての遊びも、夫としての役割も、父親としての威厳もなくただ会社に尽くしてきた人生。

これで周りの人を幸せにできますか？

ではなぜこうなってしまうのか。  
それは、あなたが会社に依存しているからです。

**収入源が会社からの給料だけだと、どうしても思うように仕事に取り組めないでしょう。**

上司に意見したいことも、グッと押し殺す。

これがサラリーマンという生き物だ、と無理やり思い込み、次第にそれが当たり前になる。

何かに依存するということは、結局このスパイラルから抜け出すことができなくなってしまいます。

だから、複業をやって自分のビジネスを持つ。

そうすれば、会社の給料がなくなることに怯える必要がなくなり、言いたいことをバンバン言える。社内でやりたいことがあったら、どんどんチャレンジしていける。

**こうやってアグレッシブに活動できるからこそ評価もあがり、ますます楽しくなる。**

こういう好循環を起こすことができるのが複業の力。それを実現したのが、パラレルライフという生き方になります。



# 会社は大きい仕事をするために働く

---

どうせ会社に勤めるのであれば、会社でしかできない大きい仕事をするために働きましょう！

個人レベルでもできる仕事は会社以外でやる。

安定のためだけにやりたくない仕事をしながら会社員をしているなら、脱サラすることを本気で検討した方がいいです。

ただ、現実としてあなたも含めて多くの人が安定のために仕事をしているでしょう。それももちろん大事なことです。それだけでは**あなたの人生の貴重な命を使うにはモッタナイ**と思います。

タイムイズマネーという言葉直訳すると、「時は金なり」ですが、私の中では違う解釈をしています。それは、「時は命なり」。「お金と命どっちが大事か」と聞かれて、あなたはどちらを選びますか？間違いなく命でしょう。

1000万円が命が助かるなら1000万円を必死に集めると思います。

私の場合、サラリーマン時代には決済のシステムを提供している会社に勤めていましたので、様々なネットショップの売り上げやビジネスモデルを知ることができました。

外からみたら全く儲かっていなそうでも、めちゃくちゃ儲けているネットショップもあれば、逆に派手に作りこんでいるネットショップが全然売れていないという事実も知りました。

個人規模のビジネスをやっていたのでは絶対に知りえない情報を会社勤めすると学ぶことができます。

他にも、会社に所属しているからこそできる仕事は山ほどあります。

- ・億単位の取引をする
- ・大手企業のコンサルをする

- ・ 最新モデルの製品開発にかかわる仕事をする

どうせ働くなら自分がやってみたいことができる会社に勤めることをおすすめします。もし、どうしても会社に勤めるのがいやなら私みたいに辞めて独立すればいいのです。

それも一つの人生だと思います。

## 人生をパラレルに生きるために複業をする

---

何度もお伝えしていますが、人生を充実したものにするために複業をしましょう！

**複業があれば、会社に依存しなくてもいいので本当に好きなことだけをして生活する日々を送ることができます。**

会社が嫌ならやめたらいいし、続けたいなら続けたらいい。全ては自分の選択です。

会社を辞めた人間として思うことは、会社って意外といいところだよねという感想です。

福利厚生はしっかりしていて仲間もいる。  
税金関係の手続きもすべてやってくれます。

でも独立すると、意外とこういうお金関係は大変です。

全部自分でやらないといけませんから。

だから、私は一概に会社を辞めてみんな独立起業することがベストだとはいいません。

とくに、すでに結婚して家族がいるひとはなおさらですよね。私が最初に独立したときなんかもすでに結婚して子供がいましたので、会社を辞める時は相当悩みました。

果たして独立して食わしていけるのか。

なやみに悩んだ結果、結局やらない後悔はしたくないと思ったからこそ人生が大きく動きました。

紆余曲折はありましたが、今は依存することのない収入源を確保しやりたいことだけをやる毎日です。

おいしいご飯を食べたいと思えば、思ったそばから食べに行ける。遊びたかったら遊びにいける。

何をするのも自分次第。  
自由です。

最高ですよ！この生活は。

本当に人生後悔することがなくなります。  
最高だと分かっているから、あなたにもぜひこちら側に来てほしいと思っています。

そのためには、複業を行って結果を出す。  
これが一番の近道だと断言します。

# エピローグ

## 後悔しない人生を歩むために

---

本書を最後まで読んでいただき本当にありがとうございます。この本は、あなたに一片の後悔も残さない人生を歩んでいただくために執筆しました。

わたし自身、これまでの人生を振り返ると、もっとやれた！もっとできた！ということは数えきれませんが、後悔は一切していません。

なぜなら、その都度その都度最適な解をとってきたという自負があるからです。

巷ではよく「あの時戻れたらどうしたいか？」という問いがされたりしますが、私はそういった質問の類は一切無駄だと感じています。

だって、現実的にもどることができるわけじゃない。

タイプスリップできる機械が発明されたらそりゃ1年前に戻ってやり直すことを真剣に考えた方がいいとは思いません。

でも、過去を振り返って考えても無意味です。過ぎたことは決して戻りません。なので、私は常に未来を見ていきたいし、今の自分の行動が未来をつくります。もっと言うと、今の行動が、過去の失敗を成功に変える唯一の方法です。

私も過去の独立失敗時に今の知識経験を持って戻れるなら戻りたいですし、いまなら成功させる自信はあります。けど、それにフォーカスしても現実は何も変わりません。

”今”にフォーカスしましょう！

それが唯一、あなたの未来を輝かせる方法です。

## 追伸

---

実はこれを書くべきか非常に迷いました。

しかし、現実の話としてあなたに是非お伝えしないと  
いけないと思い追伸という形でお伝えします。本人か  
らも了解を得て、ここに記させていただきます。

実は、この本を書き始めるちょうど2週間ほど前にサ  
イトの管理などを主に担っていただいている社員の方  
が末期がんであることが分かりました。

私より1歳上なので、まだ30歳前半。

2年ほど前に乳がんを患っており、手術をして摘出し  
た後、3か月ごとに検査を受け再発しないか経過観察  
中の出来事でした。

検査の間の3か月間で、それまで一切影がなかった肝  
臓に3センチのがんが2つ見つかり、すでに末期。

平均寿命は2～3年、長ければ10年ほどだと医師に  
告げられたようです。



これを聞いたときは本当にショックで妻と大号泣。しばらく仕事も手につかないほどでしたが、冷静に考えてみると、自分だって今は健康だと思っけていても、数年後に病気がみつかって亡くなるかもしれません。明日事故に逢うかもしれません。

そう考えたら、これは他人事じゃない！と本気でそう思いました。

病気の話を知くと、対岸の火事のように自分とは関係ないと考えてしまいがちですが、決してそうではありません。

ちょっと不謹慎な言い方かもしれませんが、私もあなたも「**いつ死んでもおかしくない**」のです。

つい先日、この話を乳腺クリニックに勤めている看護婦さんに話したところ、**実際に乳がんと告知されている人は、1日に5人にも上る**そうです。（クリニック内だけの数）

彼女の勤めるクリニックは街にある個人経営の病院です。そんな小さな病院でさえ、それだけの人数が毎日告知されていることに愕然としました。

普段あまり意識しませんが、それだけ「死」というのは身近な存在だということ。あなたは現在健康体で、「将来はあんなことしたいな！」と漠然と考えているかもしれません。

もしやりたいことがあるなら、今すぐに行動を起こすこと。

あなたの人生のローソクはいまこうしている間にも、刻一刻と短くなっていっています。

今こそ、複業を始めて、会社にも時間にも場所にもお金にも縛られない、依存しないあなたに出会いましょう！